

高等学校 令和6年度 教科 地理歴史 科目 世界史

教科：地理歴史 科目：世界史 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1・2組 5組

教科担当者：(1・2組：八角・赤池) (5組：八角・赤池)

使用教科書：(山川出版社『世界史探究』)

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技術を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界との繋がりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したりしたことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立 	<p>【知識及び理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 ・アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 ・フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 ・中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、関連性、意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ・ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。 ・19世紀後半にさまざまな国際運動が進化した背景を理解する。 ・オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 ・イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ・東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 ・第2次産業革命と帝国主義 ・列強の世界分割と列強体制の二分化 ・アジア諸国の変革と民族運動 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 ・19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 ・南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 ・19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 ・オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 ・ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。 ・欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 ・アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、関連性、意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1

	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ・第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ・国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成 	<p>【知識及び理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 ・世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、関連性、意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	20
定期考査				○	○		1
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ・自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ・国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 ・1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパにおいて緊張緩和が進化した経緯を理解する。 ・ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解する。 ・オイルショックが各国の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・1960～1970年代の中東における変容・開発途上国の工業化の経緯を理解する。 ・1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 ・ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ・ゴルバチョフの改革が挫折した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。 ・20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機 ・冷戦体制の動揺 ・産業構造の変容 ・冷戦の終結 ・今日の世界 ・現代文明の諸相 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 ・第二次世界大戦後の世界について、冷戦構造とその変容、欧米やアジア・アフリカ諸国など諸地域の変容を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、関連性、意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	24
定期考査				○	○		1

3 学 期	<p>・問題演習を通じて習得した知識・技能や思考・判断・表現力を統合させる。</p>	<p>・入試問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 既習事項について構造的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸資料から必要な事項を読み取り、既習事項に関連づけながら思考し判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通じ自身の学習について振り返り調整しようとしている。</p>	○	○	○	10
							合計